

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：酒井）（2組：酒井）（3組：酒井）（4組：酒井）（5組：酒井）（6組：酒井）

使用教科書：（新訂現代の国語 第一学習社）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
「何も知らない（私）」を知ること（永田和宏） 【知識及び技能】 ・叙述を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の叙述をもとに要点を把握し、内容や形式について論述する。	【指導事項】 ・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【教材】 新訂現代の国語 第一学習社 【一人1台端末の活用】 ・アンケート等をTeamsを使って実施。				○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。	○	○	○	8
【対比】「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 ・言葉の意味内容を改めて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握する。	【指導事項】 ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かい姿勢を作る。 ・話し言葉の特徴をふまえて的確に話す。 ・情報が伝わるように説明の仕方を工夫する。 【教材】 新訂現代の国語 第一学習社 【一人1台端末の活用】 ・アンケート等をTeamsを使って実施。	○	○			【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	○	○	○	8
定期考査							○	○		1
水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	【指導事項】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。			○	○	【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	5
ものごとば（鈴木孝夫）（中村桃子） 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整する。	【指導事項】 ・情報を収集・整理し、伝え合う内容を検討する。 ・情報が的確に伝わるように説明の仕方を工夫する。 ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身に付ける。 【教材】 新訂現代の国語 第一学習社 【一人1台端末の活用】 ・アンケート等をTeamsを使って実施。	○				【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
「相手を説得する」 □ 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。	【指導事項】 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	○				【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	○	○	○	3
定期考査							○	○		1

1
学期

	<p>生と死が創るもの（柳澤桂子）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文中の根拠や引用に着目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 文章の要旨、要点を把握する。 情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。 結論を出すために話し合う。 文章を読み取って主張を書く。 <p>【教材】</p> <p>新訂現代の国語 第一学習社</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート等をTeamsを使って実施。 	○	○	○	○	○	○	7		
3学期	<p>実用的な手紙文の書き方</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートを書くことを通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 	<p>適切な情報を集め、問いを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 <p>【教材】</p> <p>新訂現代の国語 第一学習社</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート等をTeamsを使って実施。 		○						6	
	定期考査							○	○		1
合計										70	

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に分析するための基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間（点、線、面）の関係を着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・数と式、図形と計量、2次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>	<p>・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。</p> <p>・図形の構成要素間（点、線、面）の関係を着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。</p> <p>・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。</p> <p>・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。</p>	<p>・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 数と式 式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字や式の次数への着目を通して、式について多様な見方をすることができる。 連立不等式を解いたり、1次不等式を日常の事象の問題解決に活用したりすることができる。また、絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。	1 整式 2 整式の加法と減法、乗法 3 因数分解 4 実数 5 根号を含む式の計算 6 1次不等式 7 1次不等式の利用	【知識・技能】 ・式についての用語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・式の一部を1つの文字のように見たり、1つの文字について整理したりするなど、見直しをもって複雑な式を因数分解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中学校で学んだ等式の性質と関連付けながら、不等式の性質を考えようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	2章 集合と論証 命題や条件に関する基本的な概念を理解する。また、命題の真偽や条件どうしの関係を、条件を満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えることができる。 命題の逆・裏・対偶を理解し、対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。	1 命題と条件 2 命題と証明	【知識・技能】 ・命題や条件に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・命題の真偽や条件どうしの関係を、条件を満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	8
	3章 2次関数 関数についての基本的な概念を理解する。また、定義域が制限された1次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 学校で学んだ $y=ax^2$ のグラフをもとに、一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフを書く方法を考察することができる。	1 関数とグラフ 2 $y=ax^2$ のグラフ 3 2次関数のグラフ	【知識・技能】 ・関数についての基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・2つの放物線の位置関係について頂点に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $y=ax^2$ のグラフをもとに、2次関数 $y=ax^2+q$ 、 $y=a(x-p)^2$ 、 $y=a(x-p)^2+q$ 、 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかく方法を考えようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学 期	3章 2次関数 定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。また、日常の事象の問題解決に2次関数を活用することができる。また、2次不等式を含む連立不等式を日常の事象の問題解決に活用することができる。	4 2次関数の最大と最小 5 2次関数の決定 6 2次方程式 7 グラフと2次方程式 8 グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの数値の関係に着目して自ら変数を設定し、2次関数を利用して具体的な問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解している。	○	○	○	30
	4章 図形と計量 鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解し、様々な場面に応用することができる。 三角比の相互関係や $90^\circ - A$ の三角比について理解する。	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、三角比を利用して日常に関する問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。	○	○	○	16
3 学 期	4章 図形と計量 三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係を考え、正弦定理を導くことができる。また、三角形の決定条件と関連付けて正弦定理を理解し、利用することができる。 三角形の面積を、三角比を用いて表す方法を理解する。また、円に内接する四角形の面積を求めることができる。	4 正弦定理・余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の応用 6 三角形の面積 7 空間図形への応用	【知識・技能】 ・正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の辺と角の間に成り立つ関係として、余弦定理を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三平方の定理と関連付けながら、余弦定理を理解しようとしている。	○	○	○	12
	5章 データの分析 ヒストグラムや箱ひげ図といったデータを整理する方法について理解し、それらからデータの傾向を把握することができる。 2つの変量の組からなるデータについて、散布図および相関係数を用いて相関関係を捉えることができる。また、外れ値を知り、外れ値の統計量への影響について理解する。	1 データの分布とグラフ 2 分散と標準偏差 3 分散、標準偏差の性質 4 散布図と相関係数 5 データの分析を利用した問題の解決	【知識・技能】 ・データをヒストグラムや箱ひげ図などに整理し、データの傾向を把握することができる。 【思考・判断・表現】 ・変量を変換した際に平均値、分散、標準偏差がどのように変化するかを考察し、それらの性質を利用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の事象を数学的に捉え、統計的手法を用いて問題解決を図ろうとしている。	○	○	○	9
						合計	105

年間授業計画 新様式

東久留米総合 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：平井） （2組：大塚） （3組：齊藤） （4組：平井） （5組：大塚） （6組：齊藤）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる

【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる

【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人および社会生活における健康・安全について理解を深める	学んだことを活かし自らの健康を適切に管理できる資質や能力を育てる。	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	体のつくりと働き 1 健康の考え方や成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防	健康について考え、現在の我が国の健康問題について考える。 また、生活習慣病について理解を深める。 一人1 台端末の活用 等	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	5
	5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	適度な運動が健康を作ることを理解する がんの原因と予防について理解する。 一人1 台端末の活用 等	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	意志決定と行動選択は様々な要因の影響を受けることを理解する。感染症について理解を深める。 心と体の相関について考える。交通事故の現状と予防について考える。 一人1 台端末の活用 等	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	応急処置の手順について理解を深め、実際に行えるようにする。 一人1 台端末の活用 等	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

芸術

科目

美術Ⅰ（選択必修）

教科： 芸術

科目： 美術Ⅰ（選択必修）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～

6 組

教科担当者： 儀部 佳織

使用教科書： （ 高校の美術 1

）

教科 芸術

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ（選択必修）

の目標： 芸術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 色の課題	絵具の基本的・適切な使い方を身に付ける。色の基本についての再確認。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 取り組みはプリントにまとめざる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
・自分の好きな漫画の1ページを模写する。 ・教科書の作品発表（鑑賞）	絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめざる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
定期考査						
・漢ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	実際にスゴロクで遊ぶことにより、アイデアを膨らませる。また、グループでの話し合いにより、制作の方向性を決めていく。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめざる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
・漢ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	チームワークを大切に、試行錯誤しながら作品を作り上げる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめざる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	6
定期考査						

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな漫画の1ページを模写する 教科書の作品発表（鑑賞） 	<p>絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。</p> <p>発表内容はパワーポイントにまとめさせる。</p> <p>出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	12	
	<p>後期 オリエンテーション 心を灯すあかり（ランプシェード）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 色の仕組み・構成 色相環を作る 透視図法 一点透視、2点透視、4点透視図法を使い街並みを描く。 レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 切り絵 染色 マーブリング、折り染 陶芸粘土で土台作り 	<p>【知識・技能】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の思いを、あかりの効果を考えて、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。</p> <p>発表内容はワークシートにまとめさせる。</p> <p>出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	10	
3 学 期	<p>マイデザイン ステンシルバックをつくらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 色の仕組み・構成 色相環を作る 透視図法 一点透視、2点透視、3点透視図法を使い街並みを描く。 レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 切り絵からステンシル版画 	<p>【知識・技能】 自分の思いを、身近な持ち物による効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の思いを、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。</p> <p>発表内容はワークシートにまとめさせる。</p> <p>出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	6	
	<p>陶芸・木彫レリーフ</p>	<p>花鳥風月をテーマに、彫刻刀を使って自然物や風景を木彫りする。</p>	<p>【知識・技能】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して制作する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。</p> <p>発表内容はワークシートにまとめさせる。</p> <p>出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。</p>	○	○	○	12	
							合計	70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：入山 ）（2組：入山 ）（3組：入山 ）（4組：入山 ）（5組：入山 ）（6組：入山 ）

使用教科書：（光村図書 書 I ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈	○		○	【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。	○				6
	B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛欄造像記 ・鄭義下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○		○	【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○				20
	C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組みようとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書	○		○	【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組みようとしている。	○				12

2 学期	<p>D 文字の造形を学ぶ【行書】【草書】【隸書】【篆書】</p> <p>【知識及び技能】 ・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隸書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>○指導事項 書体の違いを理解させる。</p> <p>【行書】 ・蘭亭序 ・風信帖 ・三筆・三跡について</p> <p>【草書】 ・真草千字文</p> <p>【隸書】 ・曹全碑</p> <p>【篆書】 ・泰山刻石</p> <p>○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>				<p>【知識及び技能】 ・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隸書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。</p>				12
	<p>E 漢字仮名交じりの書を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>○指導事項 ・参考作品の臨書 ・創作</p> <p>○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>				<p>【知識及び技能】 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養うことができる。</p>				8
3 学期	<p>F 仮名の書を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○指導事項 ・仮名の成立や種類 ・筆使い、平仮名、変体仮名、連綿について理解させる 書風の違いを理解させる。</p> <p>・蓬萊切 ・高野切第三種 ・三色紙 構成方法の理解 ・散らし書き ・行書き</p> <p>○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>				<p>【知識及び技能】 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>				8
	<p>G 好きな言葉を書こう</p> <p>【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○指導事項 創作</p> <p>○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品、字書</p>				<p>【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>				4
合計										70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションI 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1～6組：千野）（1～6組：磯貝）（1～6組：西村）

使用教科書：（Revised LANDMARK Fit I）

教科 外国語： の目標：

【知識及び技能】本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

科目 英語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。	本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。	本文に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、主体的にペアで話し合ったり、簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。学習について振り返りができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞 読	話 （ や ）	話 （ き ）	書					
1 学 期	Lesson 1 ・高校生活でやってみたいことについて、内容を理解できる。 ・高校生活でやってみたいことについて伝え合うことができる。 ・高校生活でやってみたいことについて、他者の概要や要点を伝えようとしている。	・Enjoy Your Journey! ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	Lesson 2 ・お勧めの飲食店の紹介を聞いて要点を伝えられることができる。 ・相手や自分が勧めの飲食店について伝え合うことができる。 ・主体的にペアワークやpppyぶに組み、振り返りができる。	・Curry Travels around the World ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査						○	○			1
	Lesson 3 ・制服について、概要を把握することができる。 ・日本と海外の制服事情についての語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・What Do You Wear to School? ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	Lesson 4 ・世界遺産について、概要を把握することができる。 ・世界遺産に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Eco-tour on Yakushima ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
定期考査							○	○			1
2 学 期	Lesson 5 ・ジェスチャーについて、概要を把握することができる。 ・ジェスチャーに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Communication without Words ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	Lesson 6 ・殺処分について、概要を把握することができる。 ・殺処分に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Chirori the Therapy Dog ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査						○	○			1
	Lesson 7 ・人物について、概要を把握することができる。 ・人物に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Cacao Revolution ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	Lesson 8 ・SNSについて、概要を把握することができる。 ・SNSに関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・The Secret Life of a Gamer ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
定期考査							○	○			1
3 学 期	Lesson 9 ・月について、概要を把握することができる。 ・月に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・The Moon ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	Lesson 10 ・友情について、概要を把握することができる。 ・友情に関する語句や文法事項を用いて、表現できる。 ・主体的にペアワークや発表に取り組み、振り返りができる。	・Friendship over Time ・教科書、プリント、ワーク、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査						○	○			1
										合 計	105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理表現Ⅰ

教科： 外国語

科目： 論理表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：大澤） （2組：千野） （3組：大澤）

（4組：千野）

（5組：大澤）

（6組：千野）

使用教科書： （ Revised Applause English Logic and Expression I

）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見を伝え合うことができる。

科目 論理表現Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見をペアやグループで伝え合うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】 文の種類 【思考力、判断力、表現力等】 応答・理由を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 クラブ活動や趣味をペアで紹介することができる。	・ My Hero ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
	Lesson2 【知識及び技能】 文型と動詞 【思考力、判断力、表現力等】 賛成・反対を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭についてペアと話すことができる。	・ Plans for the Weekend ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	Lesson3 【知識及び技能】 時制 【思考力、判断力、表現力等】 激励・計画を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 旅行の経験についてクラスに話すことができる。	・ Tips for Foreign Tourists. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	4
	Lesson4 【知識及び技能】 完了形 【思考力、判断力、表現力等】 経験を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツや音楽の経験をペアで伝え合うことができる。	・ My Own Experiences ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	4
	Lesson5 【知識及び技能】 助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 許可・義務を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 将来の夢をグループで伝え合うことができる。	・ Popular Foods in the World ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1

